

卵焼きに始まって卵焼きに終わる

副会長に推挙されて、早いもので、3期6年が経過した。この文章が掲載されるのは役員改選選挙の公示と同時である。この期間、仕事のプライオリティは診療より、医師会、医師国保、支払基金、薬科大学講義などであったと言えるか。

医師会活動で留意したことは多々あるが、有言無実行でなく、有言実行。人の意見に惑わされることなく、自分で調べて、多数がその方向に傾いていて、自分の意見が少数であっても、正しいと思われることを言う。絶対的医師不足、総合医構想、後期高齢者医療制度の行方、メタボ健診など、自分が主張したことは当時少数意見であったが、現在は多数の認めるところとなっている。先見性、予見性が必要だと思う。大学で研究に従事していたころ、実験のプロトコルを自分で作るわけだが、ある程度実験結果を予測しながら行わないと徒労に終わる。セレンディピティに期待することはできない。長いものに巻かれることは自分の最も嫌うことであり、生来の性格であろうか。

北海道の医療は日本の医療崩壊の縮図である。他の都府県に進学していたら、米国や福島県立大学に残っていたらと思うこともある。結局、カムバックサーモンで、この日本の医療崩壊の縮図ともいべき北海道で悶え苦しんできた。逆にやりがいがある。先がなかなか見えないが、医師会、大学、各種の医療団体、行政などとの連携で乗り越えねばならない。料理人が修業の最初に作るのが卵焼きだけど、最後まで完璧なものを作ることが出来なく、卵焼きは奥が深いと言われている。医師会活動も卵焼きと同様奥が深い。はまってしまうという点では医学実験と似ている。

NHKの大河ドラマ「八重の桜」の福島県会津若松では、「我慢は桜咲く」という言葉がある。公私とも我慢の時であろうか。
(一途一心)



大通公園を望む窓辺から

数 独

数独（すうどく）という日本生まれのゲームをご存じでしょうか。ナンバープレイス（ナンプレ）ともいいます。このゲームは9×9の大ますと、その中に3×3の小ます9個があり、1つのますに1～9の数字を入れていくパズルです。ルールは簡単ですが、守らなければならない3点があります。①1列で同じ数字を使ってはいけない、②1行で同じ数字を使ってはいけない、③1つの小ますの中で同じ数字を使ってはいけない、以上の3つがルールです。列でも行でも小ますでも1～9の数字がだぶらずに入ります。小ますの中にいくつかのヒントになる数字が入っております。この数字を手掛かりに、上記の3つのルールを守って、適当な数字を入れていきます。空きますが全部埋まると正解です。ヒントの出し方によってゲームの難易度が決まります。

このゲームは世界的にも知られているパズルで、数独、Sudokuという言葉がそのまま使われているそうです。昨年第1回の世界選手権が行われ、日本人が優勝しました。

私はパソコンの無料サイトであるQPON数独（ナンプレ）と晴耕数独か、某中央新聞の土曜日に発刊される“Be”で主に遊んでおります。晴耕数独のSuperという難易度の高いところでは、私の力では、1時間以上かかっても解けない問題が多数あります。解けないと結構くやしいです。脳トレや暇つぶしにはもってこいですが、時々夜遅くなるのが難点です。手軽で、しかも無料で遊べるので今後もチャレンジしていきたいと思っております…
(わか)